

令和6年度 地域と学校の連携・協働に係る研修会

趣 旨：地域と学校が連携・協働した活動の推進を図るため、地域学校協働活動を中心とした活動の在り方について研修する。
今年度は、先進的な取組を行っている学校・地域の事例発表、CS マイスターによる講演をとおして、連携の在り方や地域の力を活用した取組について学ぶ機会とした。

日 時：令和6年11月28日（木） 13：30～16：30

場 所：山梨県総合教育センター 大研修室

参加者：学校教職員、行政職員、学校教育関係者（学校運営協議会委員、地域コーディネーター、学校支援ボランティア等）、保護者、地域住民 等 約200名

内 容：

1 事例発表（概要）

甲斐市立双葉西小学校

校長 小宮山 昇 先生

CS コーディネーター 山本 真由美 氏

双葉西小は平成24年に山梨県初のコミュニティ・スクールとなり、今年度で13年目を迎える。学校運営協議会のメンバーは20名。学校応援団には52名が登録している。その他地域住民を含め年間延べ500人～600人が学校の教育に協力している。

CS 立ち上げ当時、山本さんはPTA 副会長として学校運営協議会委員となった。その後、甲斐市にCS コーディネーターとして正式採用され、双葉西小に専属配置となった。職員室にはデスクが用意され、週1回4時間程度、年間約400時間勤務している。中心となる業務は教職員と学校応援団等を繋ぐコーディネート業務や学校応援団のデータベース化、通信の作成や発信等である。双葉西小では地域人材を取り入れた授業が活発に展開されており、「地域の人が教えてくれる授業はためになっていますか。」というアンケートの問いに対し、約9割の児童が「とてもそう思う。」と回答している。地域人材の積極的な活用によって、児童の学習意欲や主体性が高まると共に、自分の住む地域への愛着心が育まれるという「地域とつむぐ授業」の実践が発表された。



2 講演

「幸せな学校づくり コミュニティ・スクールのはじめかた」

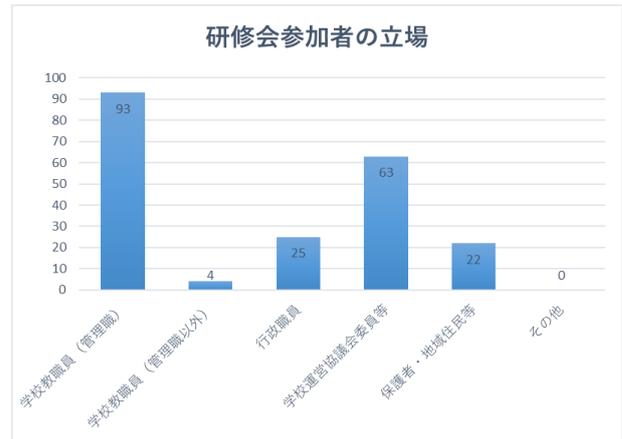
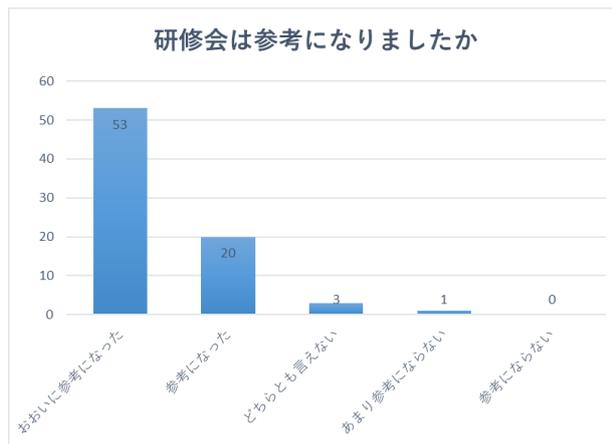
文部科学省 CS マイスター 長野県美麻小中学校地域コーディネーター
一般社団法人地域づくり美麻 代表理事 前川 浩一 氏

前川氏は平成4年から長野市大町市に移住され、民宿を経営する傍ら小中一貫教育を実践する義務教育学校である美麻小中学校の協働活動コーディネーター及び美麻地域づくり会議の推進役として活動している。これらの経験を生かし、現在は文部科学省のCS マイスターとして全国各地でCS 推進のための研修会や講演会を行っている。

CS において重要な3つのポイントは、①「まずは学校に主体性がある事」②「地域が学校運営に主体的に関わる事」③「協働で学校づくりが行われる事」である。美麻小中学校では、学校長の示す教育ビジョンを教職員とCS 委員が共有し、前川コーディネーターが地域とのつなぎ役となり「地域と学校の協働による授業」が実現している。

講演会では、山梨県の各地域でも実現可能な取り組みを考えるグループ協議の場も設けられ、「地域オリジナルのCS」について活発な意見交換がなされた。

参加者からの感想等



- * [講演] わかりやすい言葉で、本音を語ってくださった事、最後の「これをそっくりそのままやってもうまくいけませんよ。」という一言で、思わずハートに火がつかしました。
- * [講演] CSの活動が住人を呼ぶことに驚いた。山梨県のほとんどの町が少子化、人口減少に悩んでいる。学校を楽しくする事が地域づくりに繋がると知った。誰がやってくれるのを待っていてはいけないと感じた。
- * [講演] 授業の改善をベースにした学校と地域の連携の素晴らしい取り組みを教えていただき感謝いたします。地域全体で学校を良くしているところ、逆に学校によって地域を活性化させているところに素晴らしさを感じた。前川マイスターが最後に話していたように地域に合わせた方法で各地が色々なアイデアを出してやっていければと思う。
- * [講演] 地域協働の学校づくりや授業づくりについて、学びを深めることができました。グループワークでは、情報交換もでき、様々な視点を得ることができました。
- * [講演] コミュニティ・スクールが地域に必要とされ、そして学校も地域の教育力を必要とするという、相互に有意義な実践にとても感銘を受けました。本地域にも地域を愛する多くの方がいらっしゃるの、校長として地域と学校を丁寧に結んでいく努力を続けたいと強く感じました。
- * [事例発表] 双葉西小学校は、CSの実践で歴史があると認識していたが、本日の実践発表を拝聴し、更に取り組みが充実していると感じた。組織として整理されており、持続可能な取り組みとして参考になりました。
- * [事例発表] コミュニティ・スクールを13年取り組まれてきた実践をお聴きし、多くのことを学ばせていただきました。地域と保護者と学校が一体となって子どもを育てていく体制づくりが重要であり、学校と地域人材をつなぐCSコーディネーターの存在が大きいと思いました。行政として、CSコーディネーターをどのように設置していくのか、また、学校や地域にどのように発信していくのかを検討していかなければならないと思いました。
- * [事例発表] コーディネーターが重要だということがわかりました。双葉西小の子供たちや先生方がワクワクしながら学習している姿、地域の方々ワクワクしながら参加している姿が浮かんできました。
- * [事例発表] コーディネーターの山本さんが地域と学校を繋いでいて、地域の人々も、積極的に参加している様子がよくわかりました。仕事として配置してもらうこと、先生の負担も減ること、長期的に関わって行く事が大切だとわかりました。